

学校教育目標 未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

～ やさしい子：やさしいっばい かしい子：かっばい たくましい子：やる気っばい ～



和土小だより

さいたま市立和土小学校

令和6年1月9日（火）

1月号 発行者 池田 誠

〒339-0033 さいたま市岩槻区黒谷1353番地 TEL048-798-0208 / FAX048-798-8730

学校Webページ：<https://wado-e.saitama-city.ed.jp/> Eメール：wado-e@saitama-city.ed.jp

児童数 160名

「昇竜の勢い」で伸びる年となりますように

校長 池田 誠

新年明けましておめでとうございます。

今年も皆様にとってよい年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

青空が広がり、令和6年、2024年が始まりました。毎年のことながら、初日の出を見ると厳かな気持ちになり、唯々幸せな一年、穏やかな一年を願うばかりです。

今年は、十二支では辰年です。十二支の中で唯一、空想上の動物です。東洋では辰＝龍・竜は神の使いであり、世を統べる権力の象徴です。児童には、昇り竜などに描かれるように、勢いよく活気あふれ、自分自身のもてる力を伸ばしてほしいと期待しています。

昨年、中竹竜二氏（日本オリンピック委員会サービスマネージャー・早稲田大学ラグビー蹴球部元監督）の「組織文化とアンラーンの観点から考える、学びの土台」と題した寄稿文を読む機会がありました。そこには、「誰も予想していなかったことが世界中で次々と起こり、不安になることも多かったらう。何が正解か分からず、解決の糸口すら見つかっていない。だからこそ、これからは、どの環境下においても自ら考え、自分の道を切り拓いていく、新しい解をつくり出していくことが求められる時代が変わっていく。」と書かれていました。

本校でも、さいたま市教育委員会の指導の下、ICTを活用して子どもの主体的な学びの推進、教師の指導力・授業力の向上、教職員の業務改善に取り組んでいます。特に主体的な学びの推進や教師の指導力・授業力の向上については、学年や学習内容を考慮しつつ、同じ時間に同じことを学ぶ、聞く学習・見る学習が中心の一斉授業から、端末を活用し児童一人ひとりが個々の課題について調べ、考えを表明・共有して深い思考が生まれる、考える学習の授業が中心となるように取り組んでいます。授業の在り方や、教師：教える／児童：教わるという関係を見直し、お互い人間同士、お互いに学び合うという考えに立ち、自ら考え、創造できる力をはぐくむ教育を一層進めてまいります。また、業務改善を通して児童とふれあう時間の確保や、一人ひとりへの細やかな指導にも引き続き努めてまいります。

【正門脇に咲くサルビア・ミクロフィラ】



寒い日が続きます。ご自愛ください。



そして、来年度から、城南中学校校区小・中一貫教育のさらなる充実に向けた取り組みも始めます。保護者・地域の皆様には、本校の教育活動へのご理解とご協力を引き続きお願いいたします。

最後になりましたが、この度の令和6年能登半島地震により、被害に遭われた皆様、並びにそのご家族の皆様にご心からお見舞い申し上げます。また、皆様の安心安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。そして児童生徒の皆さんにはより心を寄せ、一日も早く落ち着いた日常と学校の生活が戻ることを切に願っております。

☆☆ 和土小の150年、そして未来へ ☆☆

【体育館】

○旧体育館 昭和43年に完成

- ・岩槻市内初の体育館
- ・現在のA棟前砂利の敷いてある駐車場のところに建設



【←旧体育館】

【↓新体育館】

○新体育館 平成11年に完成

- ・地域の生涯学習やスポーツ活動を支援し、さらに災害時における避難場所の役割等、地域社会の重要な施設として建設
- ・狭隘（きょうあい）だった校庭を有効に利用すべく体育館用地を新たに求め、従来より2.5倍の面積を有する。身障者にも配慮した設計で、ミーティングルーム・男女更衣室・温水シャワー等も完備



【新体育館設立時に作成されたパンフレットより】